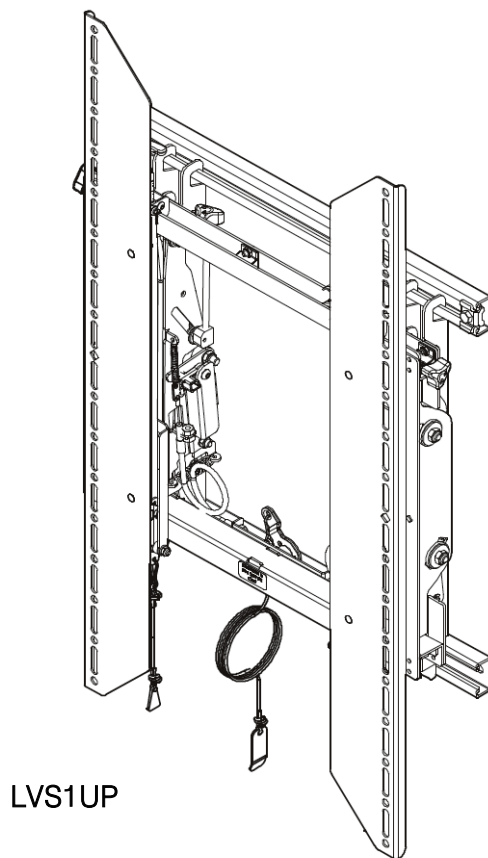


縦設置専用壁掛マウント・引き出し型（大型用）

型番 LVS1UP



このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せる様に保管してください。

必ずお守りください

壁掛け設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- カートンを開梱する際、ステابلで手指をケガしないようにしてください。
- 引き出し機構を引き出した状態で無理な力を加えないでください。破損や事故の原因となります。
- お客様の安全のため、取り付け場所の強度には、少なくともディスプレイおよびマウントの合計重量の5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2人以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。

安全上のご注意**ご使用の前に必ずお読みください** **警告と注意！**

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 警告

作業は必ず2人以上で行ってください。不十分な人員での作業はけがや破損の原因となります。

 警告

部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

 警告

取付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり非常に危険です。

 警告

ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また壁に取り付ける固定ネジは付属しておりません。壁の材質や構造に適合したネジをご使用ください。

 警告

開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、けがの原因となります。

 警告

作業中、製品に指をはさまないようにご注意ください。

 注意

ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。また、ケーブルの取り付け作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。

 注意

ディスプレイの取付作業を行うとき、引き出しユニットを引き出した状態で無理な力を加えないでください。破損や事故の原因となります。

 注意

運送による破損の可能性があるので、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設置の前に

■設置場所について



- 壁面は総合荷重に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐え得る施工を行ってください。
- 設置の前に壁掛けマウントとディスプレイの質量を確認のうえ、壁面強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行ってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な壁面への直接取り付けは行わないでください。幅木や受け木、天井吊り金具には取り付けしないでください。
- コンクリートの壁に取り付ける場合は、総合荷重に十分に耐えるアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行った場合、ディスプレイが落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持った材料をご用意ください。

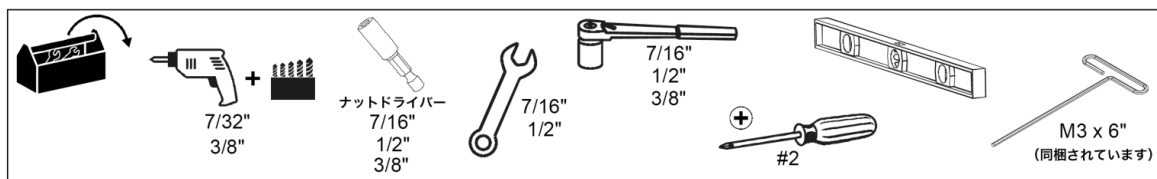
取扱説明書の安全上のご注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めてください。

図に従って壁面にアンカー処理、下穴処理等を必要に応じて行ってください。

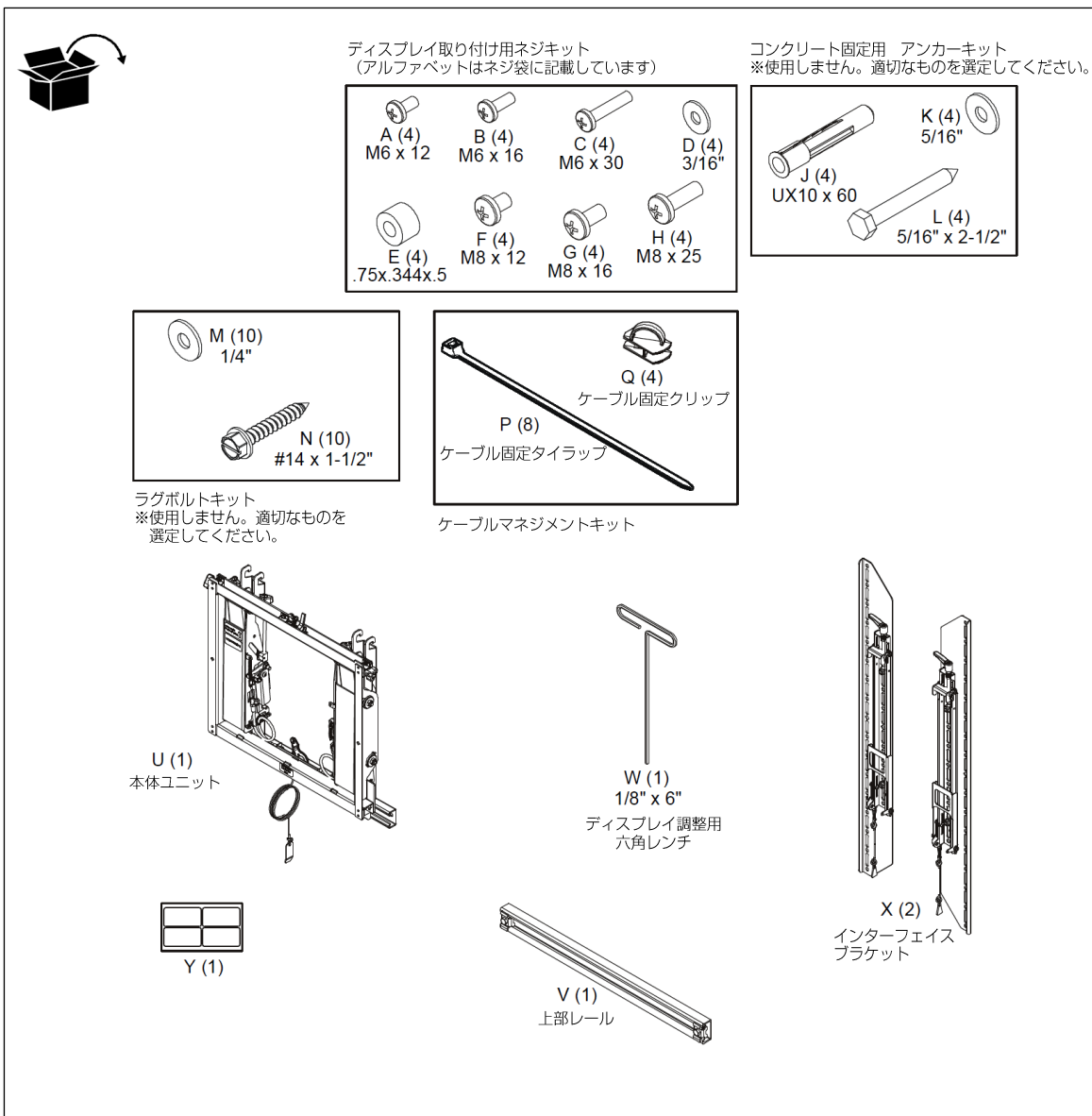
壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。

壁面マウントを壁面にしっかりと取付けてください。壁面マウントの取付穴上下各2ヵ所以上にバランスよく施工してください。

■LVS1UP・組み立てに必要な工具



■LVS1UP同梱品

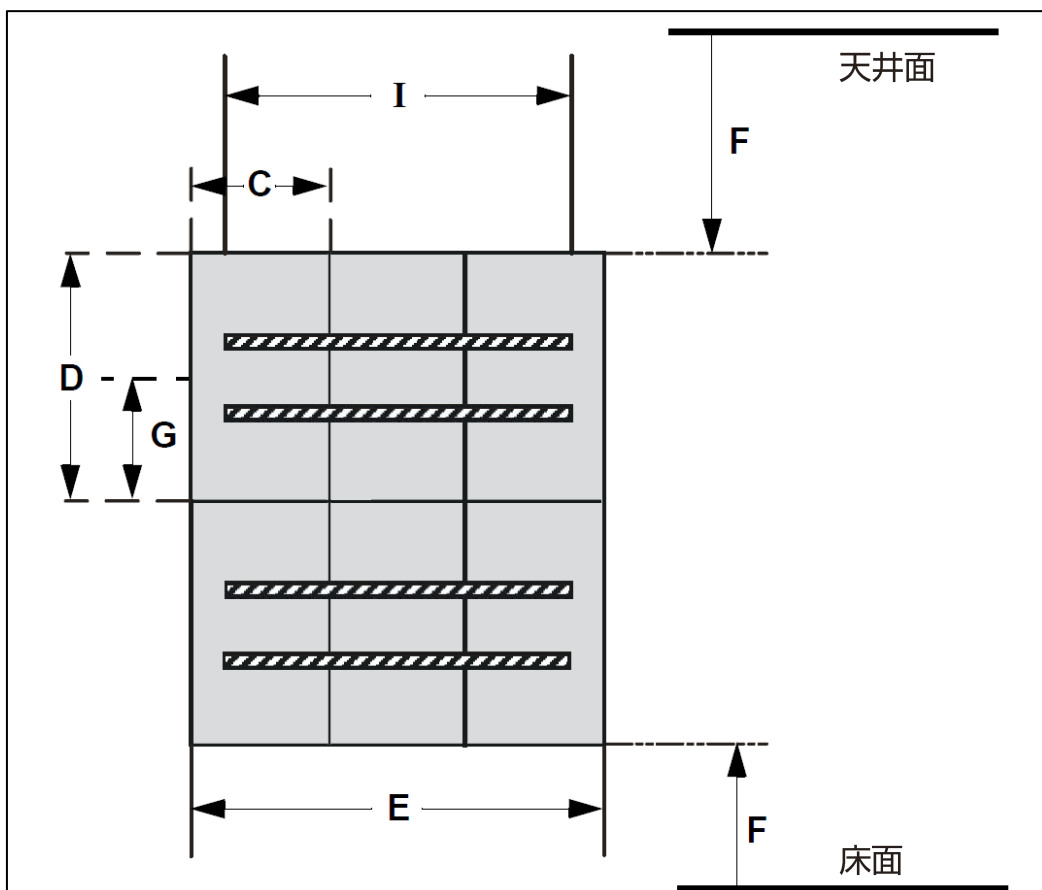


■LVS1UPを設置する前に

■LVS1UPを設置する前に、以下の寸法を測っておくと便利です。

	項目	
A	ディスプレイの縦の列数	
B	ディスプレイの横の列数	
C	各ディスプレイモニターの本体横寸法	
D	各ディスプレイモニターの本体縦寸法	
E	マルチ設営時のトータル横寸法	
F	ディスプレイ最下段から床面、または最上段から天井面への距離	
G	各ディスプレ本体・縦寸法の半分の寸法	
I	レールの横寸法	

※ディスプレイを縦設置することを前提としているので、ディスプレイの縦横が逆になります。

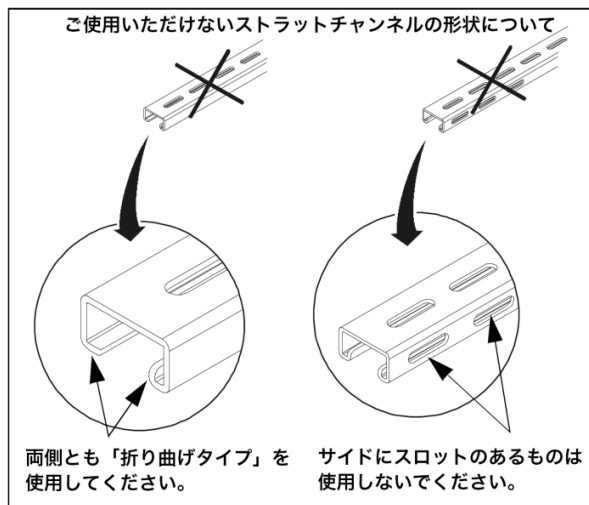
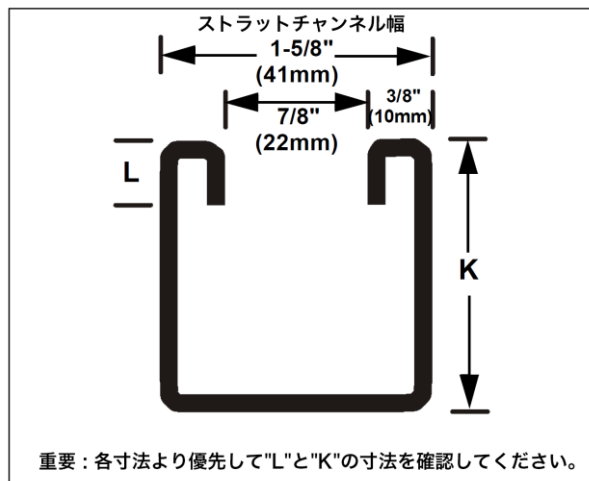


■ストラットチャンネル(上部レール)について

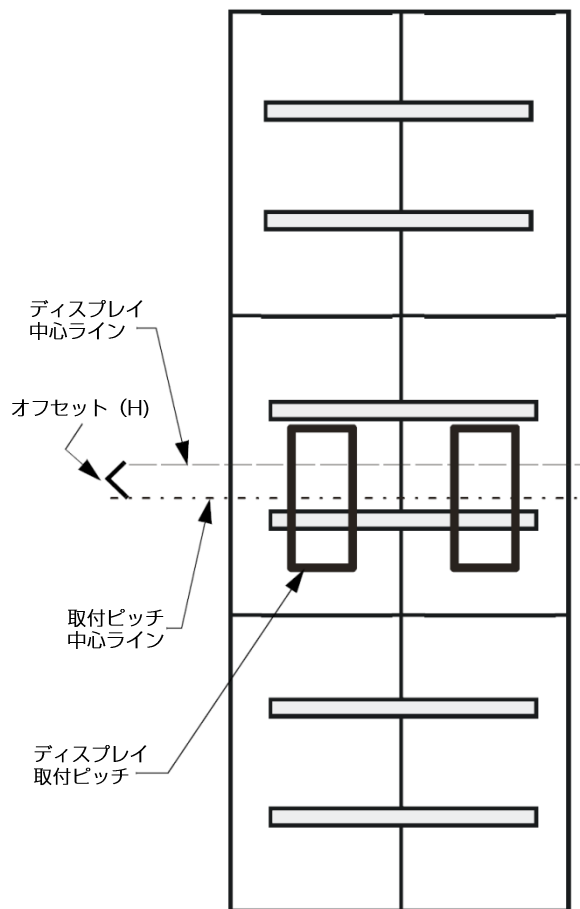
■LVS1UPを設置する際に使用する部品“(V) 上部レール”を純正品以外の部材に変更する場合は以下の選定条件を参考にしてください。
ご不明点についてはお問い合わせください。

フレーム板厚	外形寸法
14 ga [0.075"] (2.5mm)	$K = 13/16"$ (21mm)
12 ga [0.104"] (3mm)	$13/16"$ (21mm) $\leq K \leq 3-1/4"$ (83mm)
14 ga or 12 ga	L (minimum) = $1/4"$ (6mm) L (maximum) = $9/32"$ (7mm)

※ "ga" とは、ゲージ (番手) の意味です。



■ディスプレイの取付ピッチとオフセットについて

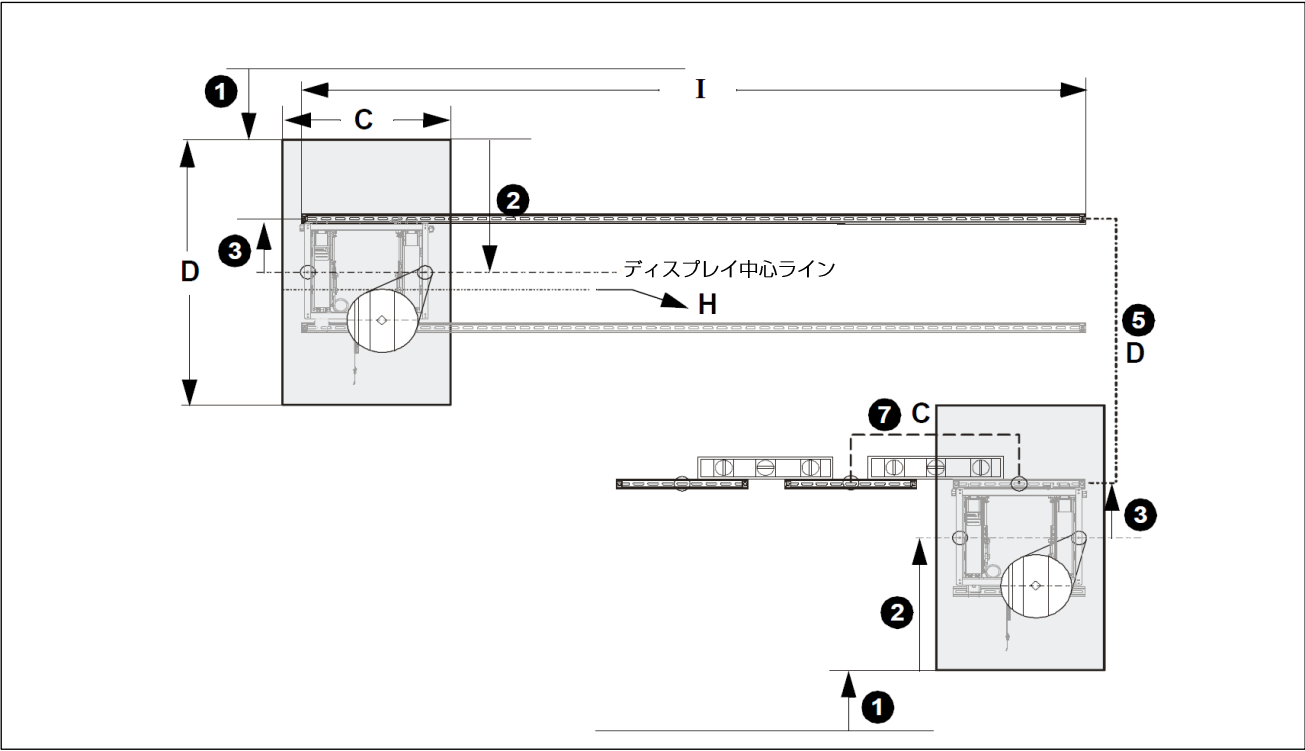
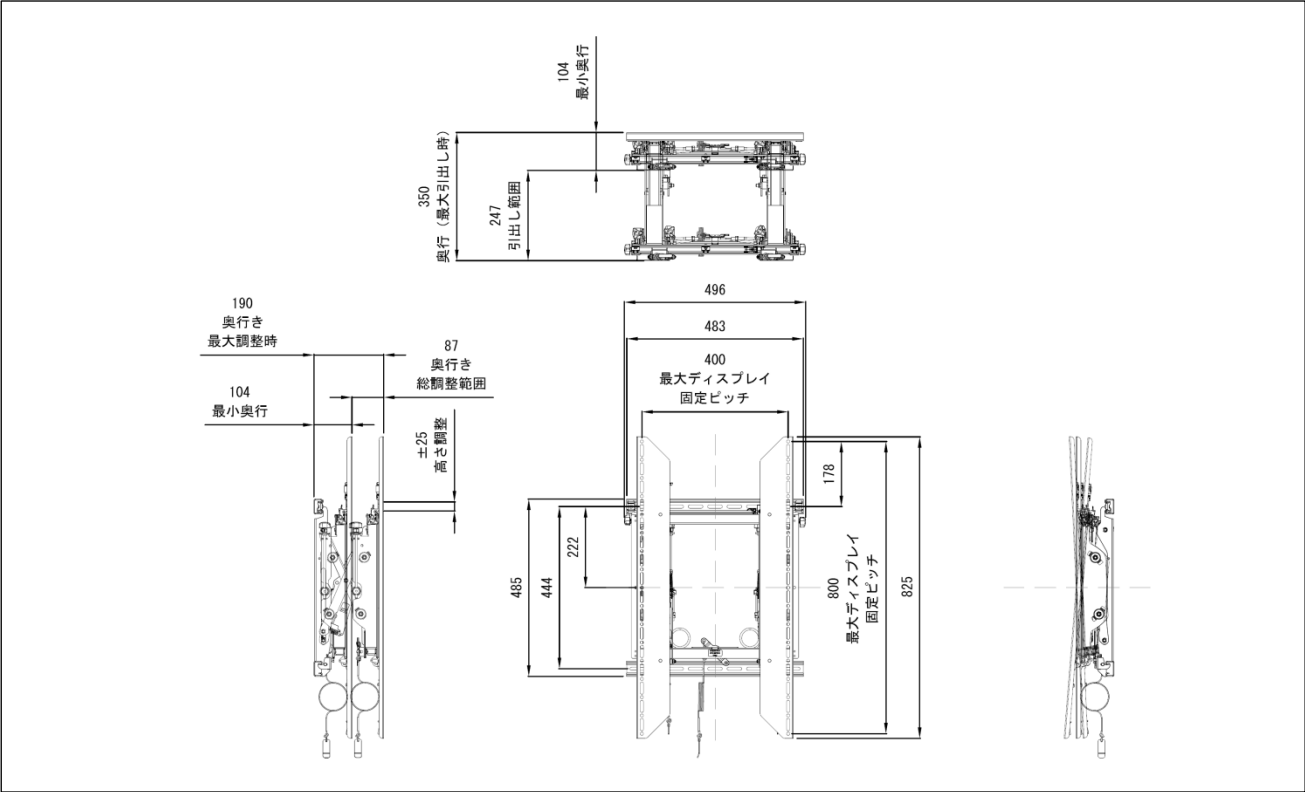


ディスプレイ中心と、取付ピッチの中心が異なる（オフセットしている）ディスプレイの場合は、本製品の壁取付マウントレールと、ディスプレイ取付中心位置をオフセットする必要があります。

- 1) 取付ピッチの中心がディスプレイ中心より“下”にある機種は、マウントレールとディスプレイ中心の距離を $222-(H)$ にします。
- 2) 取付ピッチの中心がディスプレイ中心より“上”にある機種は、マウントレールとディスプレイ中心の距離を $222+(H)$ にします。

単位：mm

■LVS1UP 本体寸法図



－ 1 － 壁へ上部レール(V) を固定する

※はじめに上部レール（X）のみを壁に固定します。
下部レールは本体ユニット（U）に装着したまま固定します。

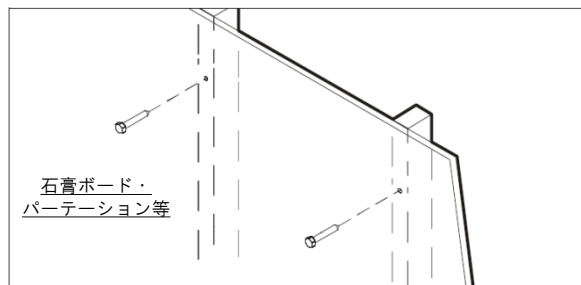
下部レールの設置手順は8ページ2－設置手順を参照ください。

●①：石膏ボード・パーテーション等に 固定する場合

●石膏ボードやパネル、パーテーション等にマウントを取り付ける場合は、図のように壁面の裏側に、必ず補強材や補強板を入れてディスプレイ全体を固定する場所を平面に維持してください。壁面にたわみがあると調整で追いつくことができなくなります。

●壁への固定は上部レール（V）に一定間隔で開いている長穴を利用して、2箇所以上確実に取り付けてください。

※付属のラグボルトは使用しないでください。壁材にあった適切なものを選定の上、確実に固定してください。

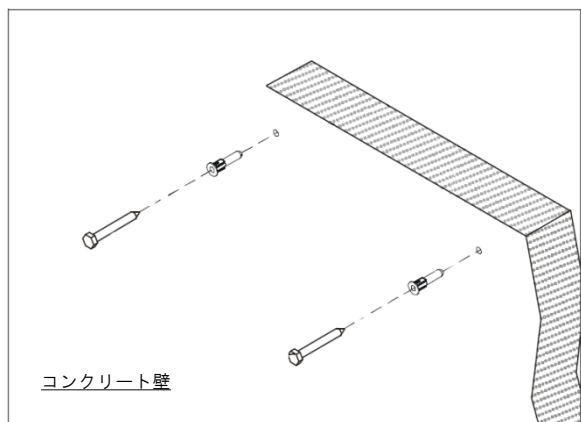


●②：コンクリートに固定する場合

●コンクリートに固定する場合は、図のように市販のカットアンカーをあらかじめ壁面に取り付けてからボルトで固定してください。

●カットアンカーのサイズは" W5 / 16 "（インチ）または" M8 "（ミリネジ）のものをご使用ください。

●壁への固定は上部レール（V）に一定間隔で開いている長穴を利用して、2箇所以上確実に取り付けてください。



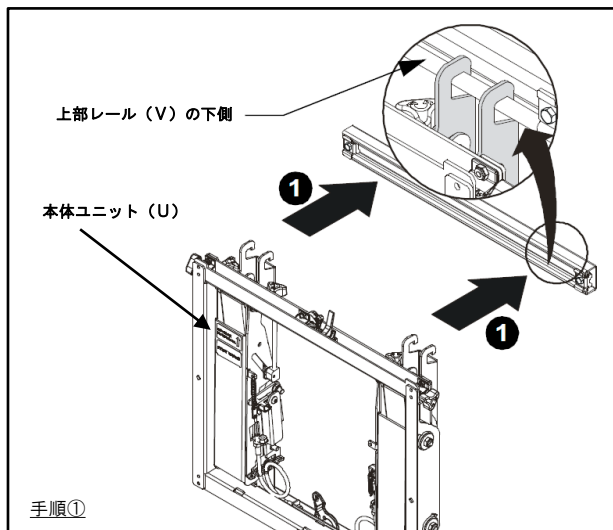
Memo

－ 2 － 設置手順

●手順①：上部レール(V)に 本体ユニット(U)を取り付ける

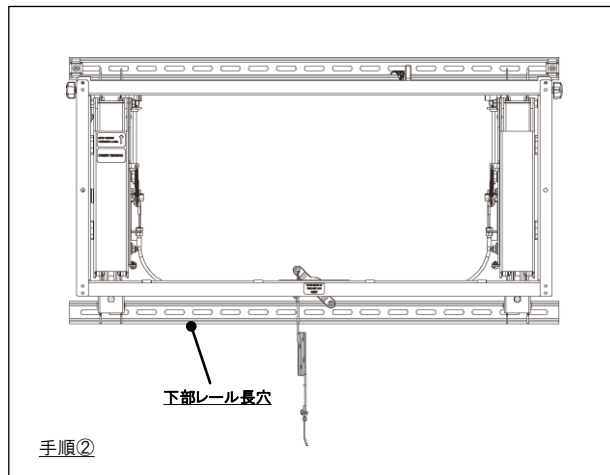
- 7ページの－ 1 －の手順で壁に取り付けた上部レール(V)の下
の溝に本体ユニット(U)を引っ掛けます。

※本体は17kg相当の重さがあるので、必ず2人以上で取り付け
作業を行ってください。



●手順②：本体ユニット(U)を壁に固定する

- LVS1U本体の下部レール部分を壁に固定してください。
- 壁への固定は下部レールに一定間隔で開いている長穴を利用して、
2箇所以上確実に取り付けてください。



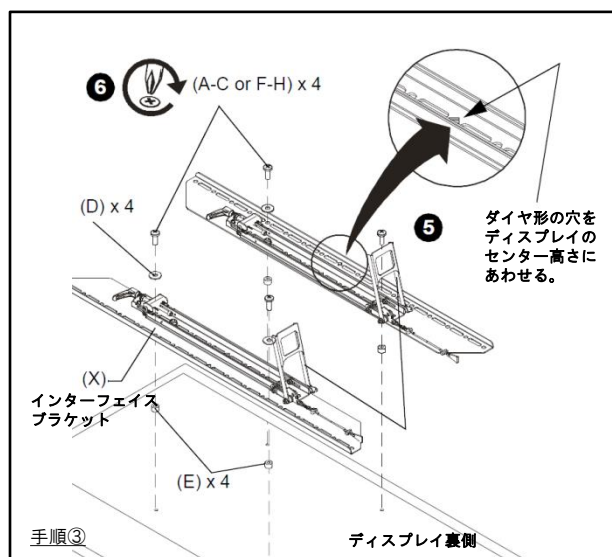
●手順③：ディスプレイ背面にインターフェイス ブラケット(X)を取り付ける

- ディスプレイ本体背面を上にして、平らな場所に置いてください。
(※画面にキズが付かない様な場所、物の上に置いてください。)
- インターフェイスブラケット(X)をディスプレイに取り付ける
際に用いるビスは、製品に同梱している8mmビスA～C、または
6mmビスF～Hの中から適した物を選択してください。
また、サイズの小さいビスで固定する場合は、ワッシャー(D)を
ご使用ください。
- インターフェイスブラケット(X)中央付近にあるダイヤ型の穴を
ディスプレイ高さのセンターに合わせて取り付けてください。



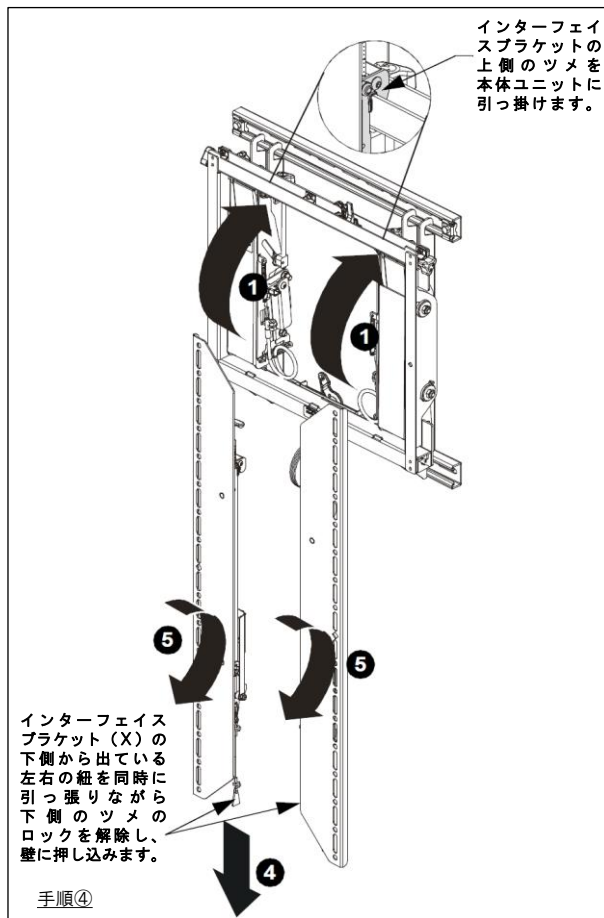
注意

ディスプレイ背面に突起などがあり、形状がフラットでない
場合はスペーサー部品(E)を使用して、2本のブラケットが
おなじ高さになるように平面性を確保してください。



●手順④:本体ユニット(U)にディスプレイを取り付ける

- 手順③にて、インターフェイスブラケット(X)を取り付けたディスプレイを、本体ユニット(U)に取り付けます。
- はじめにインターフェイスブラケット(X)の上側から引っ掛けて、次に下側の左右から出ている紐を同時に引っ張りながらディスプレイを壁に押し込みます。最後まで押し込み、Aの紐を離すとディスプレイの取付が完了します。



●手順⑤:ディスプレイの位置調整をする

- ディスプレイを本体に取り付けた後は、LVS1UPの調整機能を用いてディスプレイを任意の位置に調整して下さい。調整は横へスライド、傾きの調整、上下(高さ)の調整、せり出しの調整ができます。

上記の調整はマウント内の調整ノブを用いると工具なしでおこなえます。

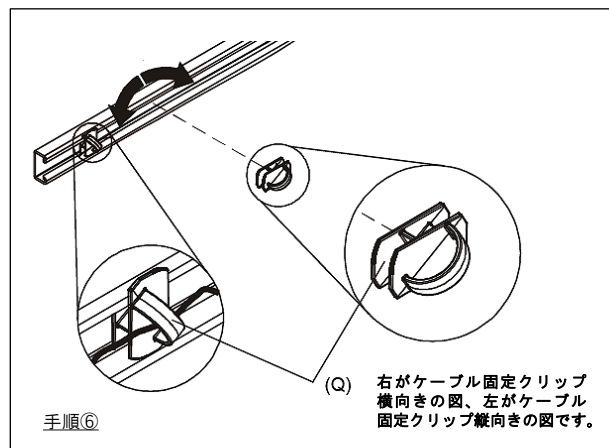
※マウント内の各調整機能の詳細については10ページを参照してください。

●手順⑥:レールにケーブル固定クリップを取り付ける(任意)

- 必要に応じてレールにケーブル固定クリップ(Q)を取り付けてください。

- ケーブル固定クリップを横向きにしてレールの溝に押し込み、そのあと90°回転させて縦向きにし、レールに固定します。

※ケーブルマネジメントが必要ない場合はこの手順は不要です。ケーブル固定クリップの他に、ケーブル固定タイラップでケーブルをまとめることもできます。

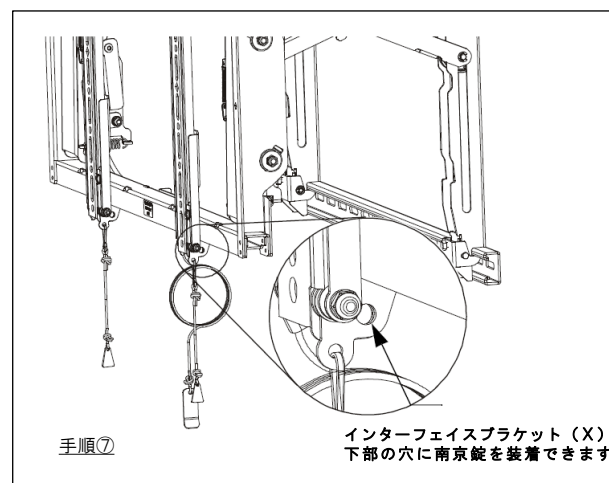


●手順⑦:盗難防止用の鍵を掛ける(任意)

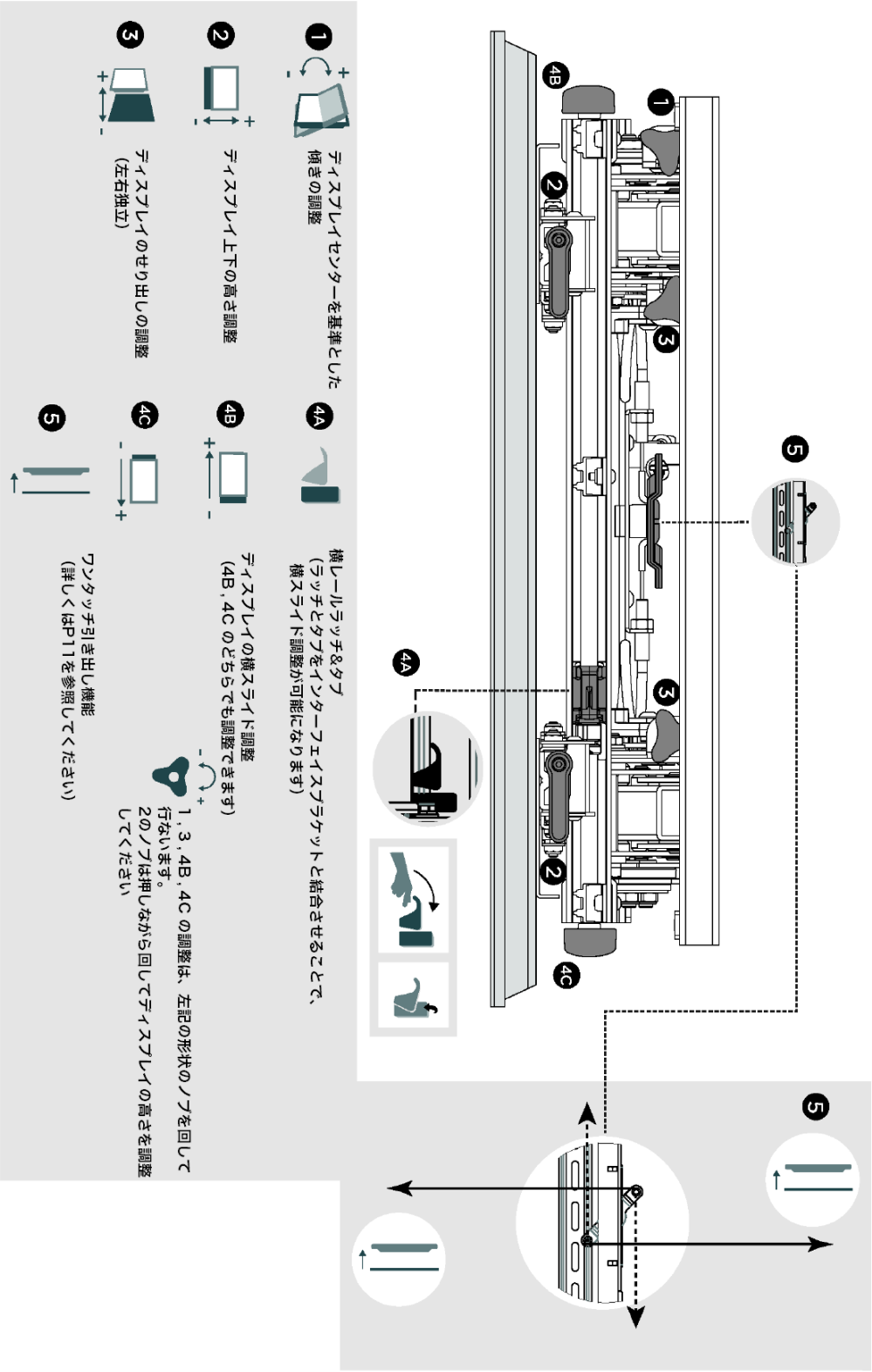
- ブラケットに盗難防止の鍵をかけるスロットを装備しています。

- 鍵を掛けることでインターフェイスブラケット(X)の下側のツメのロックがはずれないようにすることができます。

※本製品には鍵は付属されておりませんので、お客様各自でご準備ください。



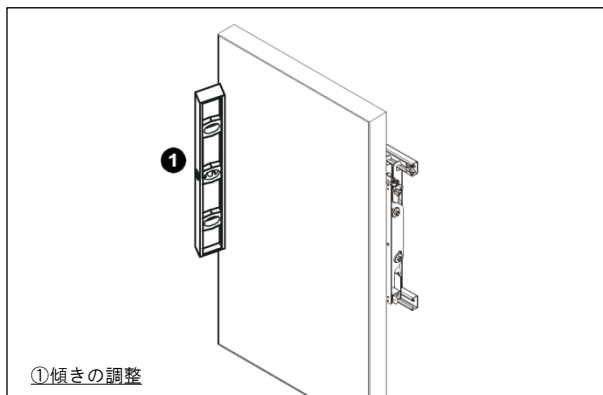
●マウント内の各調整機能



－3－ 各種調整の詳細

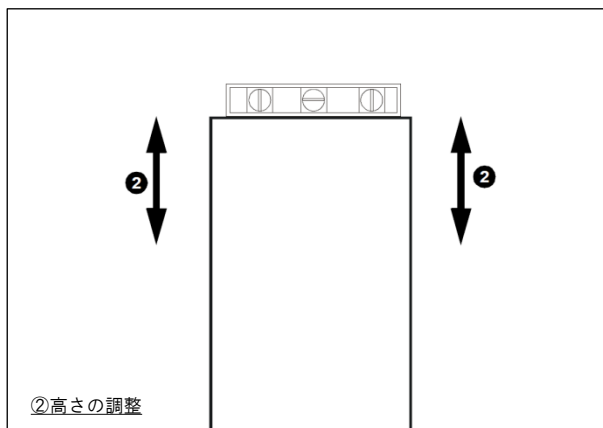
●①：傾きの調整

- ディスプレイセンターを基準にして傾きの調整をします。
- 調整をする時は図のように水平器などを用いることを推奨します。
- 傾きの調整ノブの位置は 10 ページをご参照ください。ノブを回して任意の角度になるまでディスプレイの傾きを調整してください。
- ディスプレイ上側を前に傾けると下側が後ろに傾き、上側を後ろに傾けると下側が前に傾きます。それらを考慮し一番バランスの良い位置まで調整してください。



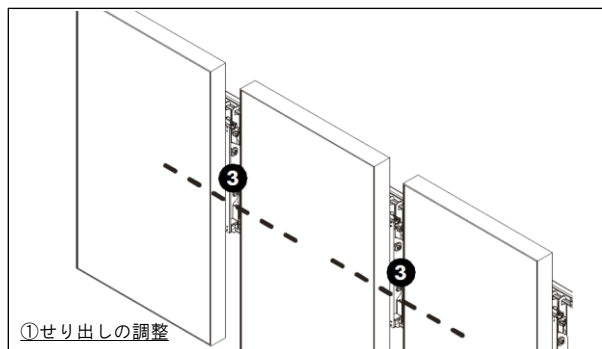
●②：上下の調整

- ディスプレイの高さの調整をします。高さ調整はディスプレイの左右独立しておこなうことができます。
- 調整をする時は、図のように水平器などを用いることを推奨します。
- 左右のインターフェイスブラケットの上部についているノブを押しながら手で回すと、ディスプレイの左右それぞれを上げ下げすることができます。また、手で回す以外にも付属のディスプレイ調整用六角レンチ (W) をノブに差し込んで回すことで高さ調整することができます。



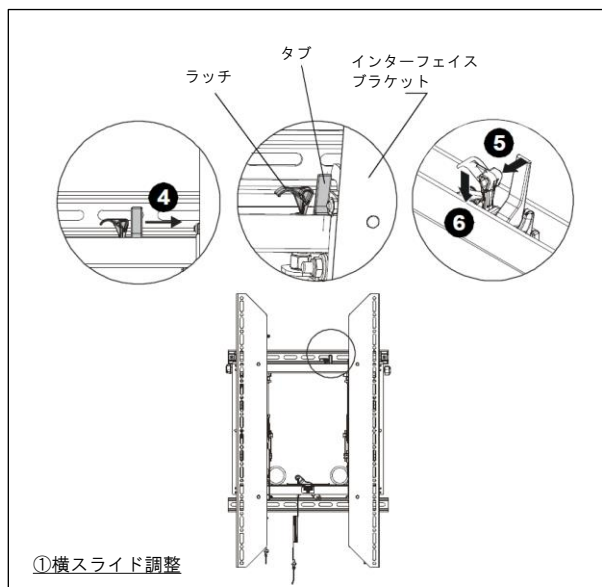
●③：せり出しの調整

- 隣り合うディスプレイの面あわせをするためせり出しの調整をします。
- せり出し調整ノブの位置は 10 ページをご参照ください。せり出し調整ノブを回し、隣り合うディスプレイの面あわせをしてください。面を合わせた後にディスプレイ同士の傾きや高さがやや異なる場合がありますので、①と②の方法で再度面が合うまで繰り返し調整してください。



●④：横スライド調整

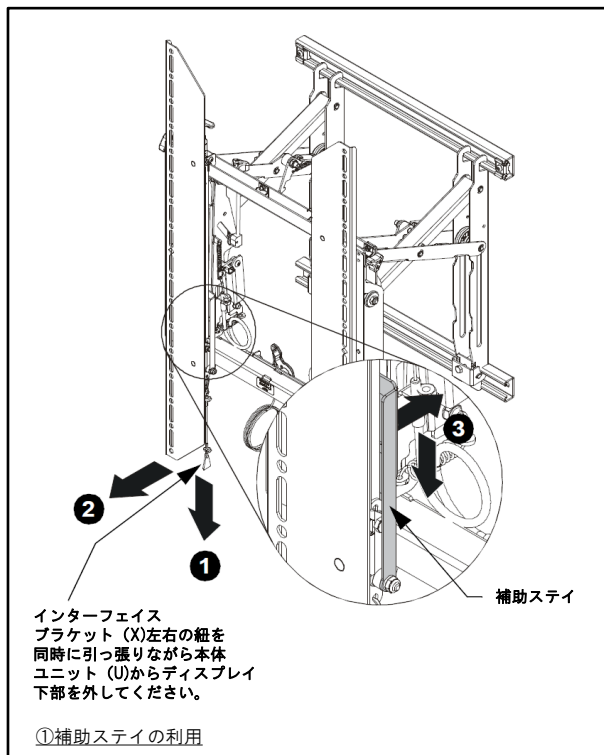
- ラッチとタブをインターフェイスブラケットと接触する位置までスライドしてください。
- ロックが掛かるまでタブを押し込んでください。ラッチとタブがインターフェイスブラケットに連結されます。
- ラッチとタブがインターフェイスブラケットに連結されたら、ディスプレイが任意の位置にくるまで本体ユニット側の調整ノブを回してください。横スライドの調整ノブの詳しい位置は 10 ページをご参照ください。



－4－ 各種便利機能

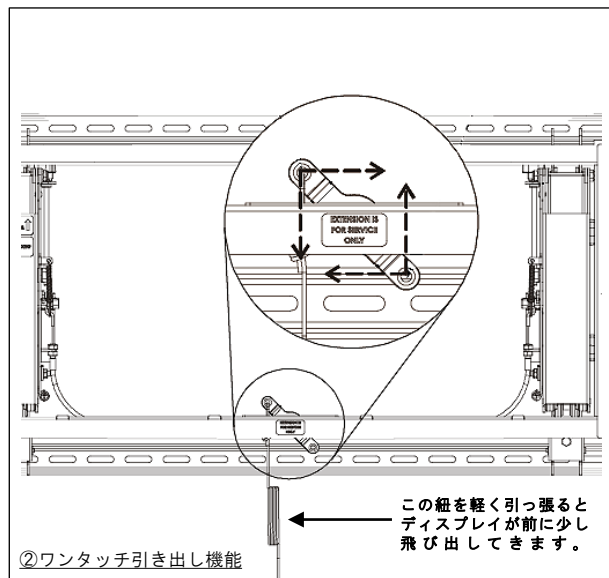
●便利機能①：補助ステイの利用

- 補助ステイを下ろすと、ケーブル配線の際の作業空間が広がります。
- 補助ステイを下ろす時はディスプレイ下部を本体ユニット（U）から外してください。下ろした補助ステイは本体ユニット（U）につかえ棒のような形で固定します。



●便利機能②：ディスプレイを壁からワンタッチで引出す

- 本体ユニット（U）下側の真ん中付近から出ている紐を引っ張ると、ディスプレイが前に少し飛び出してきます。あとは背面を持って画面に直接触れず、ディスプレイを壁から引き出すことができます。

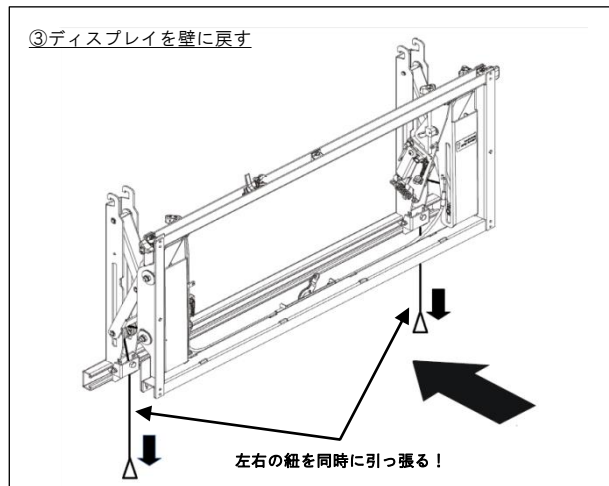


！ 注意 飛び出てきたディスプレイに頭をぶつけないようにご注意ください。

●便利機能③：ディスプレイを壁に戻す

- 本体ユニット（U）下側の左右の紐を同時に引っ張ると、ディスプレイが壁面に戻っていくので、カチッとロックが掛かるまで紐を引っ張ってください。

※インターフェイスブラケット（X）にも2本の紐がついているので、間違わないようにご注意ください。



Memo

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

CHIEF 正規輸入総代理店

AVC 株式会社
映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

<http://www.avc.co.jp/>

- システム販売事業部 首都圏 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー 8F
TEL: 03-3527-8660 FAX: 03-3527-8666
- 関 西 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25
TEL: 06-6836-7827 FAX: 06-6310-6144